

2015/10/27

誕生秘話「上を向いて歩こう」

「上を向いて歩こう」の歌詞は、60年安保の闘士だった永六輔さんが闘争に敗北して落ち込んだ気持ちを表したものと115号で書きました。

永六輔さん自身がラジオで告白していますので、そのことが作詞の動機になっていることは事実かと思いますが、また同時に彼は中村メイコさんとの失恋の話だとも語っています。

メイコさんに惚れていた六輔さんは、彼女から神津善行さんとの結婚を聞かされたとき、涙をポロポロとこぼしたそうです。

メイコさんは突然のことでどうしていいのかわからなくなって、お父さんに電話で相談したところお父さんは、六輔さんにこう言っておやりなさい、と次のように助言しました。

「今日は上を向いてお帰りなさい。涙がこぼれないようにね、とそのくらい気の利いたことを言うんだぞ！」と。

メイコさんが六輔さんにその通りに言ったら、彼はそれを歌詞のモチーフにしました。それがのちに大ヒット曲になった！

「あの歌で儲けたでしょう？あれは私のお陰よ。」と、2015年2月20日放映の某番組で、中村メイコさんは冗談っぽく笑い飛ばしながら語っておられたそうです。

少し出来すぎた話のようにも思えますが、六輔さん自身もメイコさんとの失恋の事実を認めているので、その失恋がああ歌詞のモチーフになっていることは本当のように思います。

やっぱりあの歌は失恋の歌だったのです。



1957年、結婚した年の中村メイコ

この世界的ヒット曲の陰に中村メイコさんが一役買っていたとは、トリビア(雑学)としてとても楽しい話です。

アメリカ「ビルボード」誌のシングルレコード・ヒットチャートで、3週間連続で1位になったヒット曲ですが、曲名がなぜか「SUKIYAKI」です。

YouTubeで聴いてもほぼ日本語歌詞を英訳したラブソングで、日本語そのまままで歌っているバージョンもあります。もちろん「すき焼き」とは無縁です。それがなぜ「SUKIYAKI」という曲名になったのか？

興味に惹かれて調べましたが、深い理由はないようです。

これを命名したのはイギリスです。

この曲はアメリカでヒットする前に1962年にイギリスでヒットしています。イギリスのレコード会社の社長が来日した際、土産として貰った数枚の日本のレコードの中に「上を向いて歩こう」があって、それが大変気に入って、帰国後リリースすることが決まったのですが、そのとき、何か短いタイトルにしようと考えたそうです。別に「上を向いて歩こう」をそのまま英訳しても「I look up when I walk」と大して長くはないと思うんですけどね。

ともあれ、この社長さんは、何か短いタイトルにしよう、それも日本語で！と考えたのですが、知っている日本語と言えば、接待で会食した「SUKIYAKI」と、「SAYONARA」ぐらいしかなく、結局、「SUKIYAKI」になったらしいです。

さらにです。この曲を全米にヒットさせたキャピトル・レコードは、「SUKIYAKA」というタイトルで発売しようとしたそうです。

誤植ではなくワザとです。ラジオでDJが曲紹介をする際に、歌手名の「KYU SAKAMOTO」と韻を踏めるように意図的に「-YAKA」にしようとしたのです。いやあこれはむちゃくちゃです！

さすがに、これだけは日本側が説得し、発売時には「SUKIYAKI」に戻されたそうですが。

いずれにしろずいぶんええ加減に曲名を決めたものですが、それがよかったのかも知れません。



SUKIYAKAで発売の予定だった